

平成27年度 周南市友好都市訪問団報告書



周南市

挨拶

鹿児島県出水市とは、ツルの縁で、平成20年11月に友好都市提携を結び、これまで、保護ツルの移送や大規模イベントでの特産品販売など、様々な交流を行ってまいりました。

このような中、両市の友好関係を将来にわたり良好に保つため、平成27年度より青少年による訪問団を相互に派遣することといたしました。

平成27年7月に、出水市より、12名の青少年をお迎えし、市内の教育施設や企業等の見学とともに、民泊体験等を通じて、地域の皆様と十分な友好交流を図っていただきました。

そして、同年12月には、高校生2名、中学生10名、同行職員2名の計14名による本市の友好都市訪問団が出水市を訪問しました。

団員達は、出水市の歴史や特徴等を学んだり、民泊家庭と積極的に交流を図ることで、友好都市の魅力や意義を理解することができました。このような団員達の現地での貴重な体験や学び、友好都市への思いなどを、このたび、報告書として取りまとめました。

団員の皆さんには、出水市での経験を通して得られた自信や学びを自身の財産にされ、今後も、本市と出水市の友好の懸け橋としてご活躍いただきたいと存じます。

終わりに、本事業の実施に当たり、出水市をはじめ現地でご対応いただきました皆様、また、団員を温かく受け入れていただきました民泊家庭の皆様にご心から感謝申し上げます。



平成28年3月1日

周南市長 **木村 健一郎**

鹿児島県出水市について

●市の概要

ツルの渡来地として有名で、ねぐらとなっている荒崎（あらさき）地区では、近年、1万羽を超えるツルが渡来してきます。

観光名所としては、ツル博物館クレインパークいずみやツル観察センターなど、ツルに関する施設のほか、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている麓（ふもと）武家屋敷群があり、長い間この地を治めていた薩摩藩士の気風を今に漂わせています。

人 口 54,924人（平成28年2月1日現在）

面 積 329.98平方km

アクセス JR徳山駅から新幹線で約2時間30分

特産品 みかん、いちご、たまご、お茶、焼酎、はちみつ など

市 の 花 ツツジ

市 の 木 イヌマキ

市 の 鳥 ツル



A large flock of white cranes with red faces is shown in flight against a clear blue sky. The cranes are captured in various stages of their wing strokes, with some in the foreground and others further back, creating a sense of depth and movement. The background shows a blurred landscape of dry grass and earth, suggesting a natural habitat.

●友好都市提携のあゆみ

本市と出水市は、友好都市提携以前から、ツルの渡来地として、八代小学校の児童が出水市の中学生と交流したり、観光協会が相互訪問したりするなどの交流を行っていました。また、八代のツルの渡来数が減少したことを踏まえ、出水市の保護ツルを八代に移送するという計画を立ち上げ、平成18年2月に初めて保護ツルを移送しました。

こうした中、出水市からツルを縁として友好都市を結ぶことを前提に、文化・教育・経済のさまざまな分野で交流の申し出があり、周南市としても、ツルにとどまらず、地域活性化や市民生活の更なる向上につながることから、平成20年11月に友好都市提携を結びました。

平成27年度 周南市友好都市訪問団 行程表

日次	時間	内容	場所
26日 (土)	8:44	徳山駅 出発	新幹線
	11:09	出水駅 着	
	11:30	昼食	出水駅観光特産品館「飛来里」
	12:15	東光山見学	東光山公園
	13:00	歓迎会	出水市役所
	13:45	ツルの学習	ツル博物館クレインパークいずみ
	16:30	青年の家 入所式、オリエンテーリング	青年の家
	18:00	夕食	
	19:00	入浴	
	20:00	天体観測	
	21:30	就寝準備	
22:00	消灯		
27日 (日)	5:30	起床	青年の家
	6:00	青年の家 出発	
	6:30	ツルの飛び立ちの観察及びツルクラブとの交流	ツル観察センター
	8:30	朝食	青年の家
	9:10	清掃、出発準備	
	9:45	閉所式	
	10:00	青年の家 出発	
	10:30	特攻碑公園等の見学	特攻碑公園等
	12:00	昼食(いずみ親子ステーキごはん)	竹の子
	13:30	出水麓武家屋敷見学及び観光牛車体験	出水麓武家屋敷
	15:30	感応禅寺見学及び座禅体験	感応禅寺
17:00	入村式	中央公民館小ホール	
	民泊家庭に移動。移動後、民泊体験	民泊家庭	
28日 (月)		民泊体験(昼食)	民泊家庭
	12:30	離村式	中央公民館小ホール
	13:15	出水駅観光特産品館「飛来里」で買物	出水駅観光特産品館飛来里
	14:20	出水駅 発	新幹線
	16:32	徳山駅 着	
		解散	徳山駅

★周南市友好都市訪問団 団員名簿★



- | | | | |
|-----|------------------------------------|-----|-----------------------------------|
| P8 | 山口県立南陽工業高等学校 2年
山崎 青空 やまざき そら | P14 | 周南市立富田中学校 1年
長崎 泰祐 ながさき たいすけ |
| P9 | 山口県立南陽工業高等学校 1年
小林 開晟 こばやし かいせい | P15 | 周南市立熊毛中学校 2年
野村 若加奈 のむら わかな |
| P10 | 周南市立熊毛中学校 1年
河村 ひかる かわむら ひかる | P16 | 山口県立高森みどり中学校 1年
福本 高良 ふくもと たから |
| P11 | 周南市立富田中学校 1年
清水 瞳美 しみず ひとみ | P17 | 周南市立周陽中学校 1年
宮田 尚佳 みやた なおか |
| P12 | 周南市立熊毛中学校 1年
武田 梨瑚 たけだ りこ | P18 | 周南市立富田中学校 1年
山下 紗和子 やました さわこ |
| P13 | 周南市立熊毛中学校 1年
田中 虎太郎 たなか こたろう | P19 | 山口県立高森みどり中学校 1年
山下 晴生 やました はるき |

友好都市訪問団 活動の様子

平成27年12月26日(土)～12月28日(月) 同行者：芳賀 美里 記

12月26日(土)

出水駅で出水市の職員の方々に歓迎していただき、昼食をとって、出水市の美しい全景が一望できる東光山に行きました。

その後、出水市役所において、渋谷市長、溝口教育長、出水市のマスコットキャラクター「つるのしん」をはじめ多くの方々に歓迎していただきました。

クレインパークいずみでは、出水市の特徴であるツルについて理解を深めました。団員達は、歓迎会までの緊張した面持ちはなくなり、真剣にツルのことについて学ぶ姿が見られました。

青年の家では、夕食・入浴後に、天体観測を行う予定でしたが、あいにくの曇り空だったため、天体に関する話を聞いたり、天体ドームにある大型天体望遠鏡を見学したりして楽しみました。男女それぞれ6人が同じ大部屋での宿泊だったため、団員同士の仲が一層深まった一夜となりました。



市長、教育長、つるのしんとともに



クレインパークいずみでのツル学習



夕食の様子



夕食の様子

12月27日(日)

ツルの飛び立ちを観察するため、早朝5時30分に起床し、ツル観察センターへ向かいました。早朝にも関わらず、団員達は元気な様子で、飛び立ちの観察をとっても楽しみにしているようでした。ツル観察センターでは、地元中学生の活動グループであるツルクラブと対面し、観察にあたっての説明を受けました。その後は、寝ているツルを起こさないよう静かに外へ出てじっと飛び立つのを待ちました。飛び立ちの計測の際には、団員達はカウンターを使って、飛び立ったツルの数を数えていましたが、その数の多さに計測がとても難しいと悔しがっていました。



たくさんのツルが飛び立っています

その後、出水市の職員の方から特攻碑公園や掩体壕などを案内していただき、平和学習を行いました。当時の様子を聞いたり、施設などを巡ったりすることで、平和の尊さについて改めて考えさせられました。



牛と皆さんと一緒に

昼食は、出水市のご当地グルメである「いずみ親子ステーキごはん」を食べました。団員達は1つの卵に2つの黄身が入っていることに驚きながら、おいしい食事を楽しみました。

午後からは出水麓武家屋敷群において、観光牛車体験や武家屋敷を見学しました。団員達は、周南市では見ることができない牛車や武家屋敷に目を輝かせていました。感応禅寺での座禅体験は、団員達は怖がりながらも積極的に肩を打ってもらっていました。

そして、最も楽しみにしていた団員が多かった民泊体験の入村式が行われ、お世話になる民泊家庭の方々にあいさつをして、団員3人ずつ4家庭に分かれ、民泊体験がスタートしました。初対面の民

泊家庭の方々とのあいさつは、まだ、ぎこちなく、団員達の表情は緊張していながらも、出水市の方々との交流や体験が楽しみだという様子でした。

12月28日(月)



田中家

玄米茶作り等
家族と共に、
広大な野山を
駆け回っていました。



田頭家

養豚等
子豚の扱いに
手こずっていました。



大平家

ピザづくり等
皆さん、とても料理が上手
でした。



東家

かるかんづくり等
まったりと家族団らんを楽しんでいました。

各家庭で様々な体験が用意されていましたが、どの民泊家庭でも団員達が体験を楽しみ、家族との時間を素敵な笑顔とともに過ごしている様子でした。

あっという間に民泊体験も終わり、離村式が行われました。約1日という短い時間でしたが、本当の家族のような時間を過ごした方々との別れを惜しまれました。

その後は、出水駅観光特産品館「飛来里」で、家族や学校の先生などへのお土産を購入し、たくさんの人に見送られながら出水市を離れました。

今回の派遣事業を通して、団員達は初めて経験することがたくさんあったと思いますが、積極的に行動し、それぞれが交流を深めていました。いつまでも、この経験と友好都市との絆を大切にしたいと思っています。

山口県立南陽工業高等学校

2年 山崎 青空



今回参加させてもらい、たくさんの経験や学ぶことができました。

団長をやらせてもらったので、人前で話す難しさや団員をまとめたりなどの経験もすることができました。

ツルの飛び立ちや民泊体験、座禅体験などもこの訪問団に参加してないと体験できてなかったと思うので、本当に参加して良かったと思っています。

また、コミュニケーションをとることの大切さもよく分かりました。ほとんどの団員が中学生で最初は全然話せな

かったけど、コミュニケーションをとることによって話せるようになりました。学校の先生がよく就職してからコミュニケーションをとることが一番大切だと言っていたので、これもいい経験となりました。

僕は今回の活動のなかで民泊体験が一番印象に残りました。

民泊先のお母さんには料理の作り方を学び、お父さんには「何事も経験してみることを」教えてもらいました。他にも鹿児島島の方言や出水のこともいろいろ知ることができました。

また、ブタを抱いたり、ブタのお世話も初めて体験することができました。本当に民泊体験は良い経験ができたと思います。

僕は人生で初めて人を引っ張るという立場でしたが、副団長や民泊の他の班長たち、そして引率して下さった伊藤さん芳賀さんの協力があり、無事に全員が笑顔で山口に帰って来れたので団長をやってみて良かったと思っています。他の団員たちも協力してくれたのでやりやすかったです。最後にはみんなからのサプライズでの寄せ書きは本当にうれしかったです。



もしかしたら周南市の訪問団員に参加することは最初で最後なのかもしれないけど参加できてよかったです。思い出もたくさんできました。充実した3日間でした。貴重な経験をありがとうございました。また機会があれば参加したいです。

山口県立南陽工業高等学校

1年 小林 開晟



僕はこれまで、自分の力で行動する、人と協力して何かをする、成し遂げるということをあまりしてなかったと思います。

自立するという意味でも、今回の訪問団は、とても良い経験をする事ができたと思います。

僕はずっと民泊が不安でした。また三人で一家ということもあり、後輩達と仲良くできるか、民泊先で迷惑をかけないか、などといったことを頭の中で考えていました。

しかし、時間が経つにつれて、後輩達とも仲良くなり、民泊先の方々とも親しくでき、充実した日々を送ることができました。

その前日、青年の家に泊まった時も、団員全員で協力し、時間厳守で行動することができました。

今でも頭の中に鮮明に残っているのは約1万4千羽のツルです。

山口県には数羽しかいないので、あれだけの数には度肝を抜かれました。ツルたちは一斉に飛び立ったので、空の一部が黒く染まっていました。



また、牛車に乗ったり、座禅体験をしたりなど、特別な体験をさせていただきました。

二泊三日という短い期間に最初は不安しかありませんでしたが、徐々に親しくなり、良い思い出をつくることができました。

これは僕達だけに言えることではなく、出水市の方々の間でも言えることです。

快く受け入れて下さった民泊先の方々との思い出・先輩や後輩達とつくった思い出をこれからも大切にしていきたいです。

周南市立熊毛中学校

1年 河村 ひかる



今回の友好都市交流として鹿児島行きました。とても有意義なものになりました。

新しい仲間と共に行き、とても緊張しましたが、出水市の人たちはとてもやさしかったので、とてもうれしかったです。

一番最初に行ったツル博物館クレインパークいずみでは、頭に入りきれないほど、ツルの詳しい情報や歴史、生態、特徴などを学び、出水市はツルと共に暮らしてきたと感じ、祖母がこの場所で育ったのだなと実感しました。

それに、今、すみかが減ってきていることで、人とツルの共生が必要という問題も学びました。これを通して、八代もツルと共生することが必要ということも分かりました。一日目の夜は青年の家に泊まり、新しい仲間と、とても仲良くなりました。星座の説明でも、感心するばかりでした。

二日目の朝早く、日も上がらない時間に、出水市の荘中学校の人達は、私たちに羽数調査の調べ方を丁寧に教えてくれました。このツルクラブの始まりも、五十年以上もの歴史をもち、学生が自主的に取り組んでいると聞き、出水市のツルは、人間の身近な存在であり、大切な存在で愛されていて、出水市はいい所ばかりだなと思いました。また、その日には、特攻碑公園などで戦争がこの場所にも来たことが分かり、武家屋敷見学では、武士にとって自分の城である屋敷の色々なしきを見たり、牛車に乗ったりして、感応禅寺では座禅をくみました。

そして、泊まる場所は民泊で、私にとって生まれて初めての体験でした。私が泊まった東さんの家庭はとても優しく、三日目には、ぼんたん狩りや、鹿児島名物かるかんまんじゅうを作ったりと、とても楽しい時間を過ごしました。お別れのときは少し悲しかったです。山口に帰り、家族や友達にたくさんツルのこと、武家屋敷など話すことがたくさんありました。

今回の交流で、鹿児島のツルのことをたくさん知れたり、いい所をたくさん発見できたので、これから発展に変えてみたいです。



周南市立富田中学校

1年 清水 瞳美



私がこの友好都市訪問団に参加して、一番印象に残ったことは、ツルの飛び立ちです。朝早く起きたのでとてもねむたかったのですが、その飛び立ちを見たら、ねむけがとんでいってしまいました。八代とはくらべものにならないくらいの数のツルがねどこから飛び立っていくのでとてもおどろきました。カウンターで数を数えるのも忘れるくらいでした。

あと、印象に残ったのは民泊体験です。民泊先のお父さん、お母さん



はとても優しく、とてもおもしろいかで、のびのびと過ごせました。夕ご飯の前につるどん焼き、というおかしを食べ、夕ご飯にパエリアをみんなで作って、たくさん



おかわりをし、からあげやサラダなど、たくさんごちそうをいただきました。飼い犬のくーちゃんとも仲良くなれ、いっしょに散歩にいったりもしました。この民泊の中でも心に残ったのはピザ作りです。手製のかまどでやいたピザはとてもおいしく、たくさん食べてしまいました。ピザを手作りしたことは何度かあるのですが、このピザがいままで食べた中で一番おいしかったと思います。

ツルの飛び立ちの観察や民泊体験の他にも、ツルの学習をし

たり、いずみ親子ステーキご飯を食べたり、牛車に乗ったり座禅をしたり…とたくさんのごちそうをいただきました。これらは、周南市ではできないことだと思うので、貴重な体験だったと思います。それに出水市に行ったことで逆に周南市のよさも、よく分かったような気がします。

これから、出水市で体験したことを活かして、出水市や周南市の魅力を発信できる人になっていきたいと思っています。

周南市立熊毛中学校

1年 武田 梨瑚



私が友好都市訪問団に参加して一番楽しかったことは民泊です。東さんの家では、みかんがりを体験させていただきました。私はみかんが大好きで、みかん好きとしてはたまらない体験となりました。他には、鹿児島のお菓子のかるかんを作りました。かるかんは、もち米やじねんじょうを使って作るそうです。お土産屋さんで買ったかるかんは少しパサパサしていました。でも東さんの家で作ったかるかんはもちもちしていて家庭によって味や食感が違うことがわかりました。

二日目の朝は、つるを見ました。鳴き声は遠くでもよく聞こえて、屋上で見たとき、迫力がすごかったです。つるが横一列で同じ方向に飛んでいく姿は美しく、感動しました。クレインパークでは、つるの生態を学ぶことができました。熊毛にはなかなか来ないので、つるの習性を利用したら、つるが鹿児島だけでなく熊毛にも来るようになると思います。そのために、私から積極的に行動する必要があるので、熊毛につると共に元気が戻るように地域のボランティアに参加していきたいです。

武家屋敷の見学では、島津家の古いお屋敷を見ました。昔ながらの建物で、木のぬくもりを感じることができました。

今回の訪問団に参加してみて、行く前とくらべてみると、行った後の方が大きく成長したと思います。私は、出水市の方のあたたかさがとてもうれしくて、自分達もそうして人を受け入れなければならないと思いました。

今回体験したことを、これまでの自分をより良いものにしていくために、活かしていけるようにしていきたいです。また、これまで参加していなかったボランティアに参加して、熊毛の良いところをいろいろな所に紹介して、今よりも多くの方が訪れてほしいです。今回の訪問団は一生忘れない、大切な思い出です。



周南市立熊毛中学校

1年 田中 虎太郎



今回、この訪問団に参加して、出水のすばらしいところにたくさん気付きました。ぼくは、出水に行ったのは三回目でしたが、前の二回は一泊二日で行ったので、つるしか見ることができませんでした。だから、出水には「つる」というイメージしかありませんでしたが、にわたりの生産や武家屋敷があることが分かりました。

一日目には、出水全体を見ることが出来る展望台に行きました。そこには、自然と街がバランスのとれた風景が広がっていました。人が住む街とつるが住む田がしっかりと分けられていて、共存できているなと思いました。その後、歓迎会がありました。出水市長をはじめとする方々のあたたかい歓迎に、来てよかったと思いました。市役所を出発して、クレインパークに行きました。クレインパークでは、死んでしまったつるを触ったり、はくせいの倉庫に行ったりなど貴重な体験ができました。



二日目には、早朝にねぐらから出てくるつるの羽数を数えました。とても難しく、いつも数えている人たちの苦勞が分かりました。その後、いずみステーキごはんを食べました。黄身が二つの双子を初めてみました。それに、たまごかけごはんが苦手だったぼくがこのごはんが好きになりました。その次に、武家屋敷に行きました。最初は牛車を体験しました。いちょうのオスとメスの見分け方やつるの恩返しの子供を聞

きました。牛の力が強いことにびっくりして、すぐに終わってしまったけど、とても楽しかったです。次に武家屋敷を見学しました。ためになる話が聞けてよかったです。その後、民泊家庭に移動しました。

三日目、民泊体験で黒ブタのお世話をしました。赤ちゃんはとてもかわいかったです。あたたかい家庭で過ごすことができるととても幸せでした。

ぼくは、また行く機会があれば、行ってみたいと思いました。



周南市立富田中学校

1年 長崎 泰祐



ぼくは、こんかい、周南では学べないことをたくさん学ぶことができました。

特に、民泊体験が心に残りました。いままで豚という生き物に対して接してきたことがありませんでした。また、夜には、野生のシカに会いにも連れていってくれました。シカに会ったときは、すこしおどろいてしまいました。周南市では野生のシカにあえるようなことはないと思うので、とても貴重な体験ができました。また、卵の中にきみが二つ入っていることも少しおど



ろきでした。

その他にも、座禅体験やツルの観察や牛車体験などがありました。

ツルの飛び立ちでは、約一万羽という周南市とでは、大違いな数でした。朝日が入りツルが飛びたったときには、「はくりよくあるな」と思いました。牛車体験では、ゆっくりと武家屋敷を見て回ることができました。今でもあういうふうに残っているのは、歴史を大切にしようという心がまえがあるからだと思います。周南市でもそのような所があります。例えば陶の道でもむかしの人の努力があってこういうふうに残っているんだと思います。

今回の周南市友好都市訪問団に参加してみてたくさんの人々とふれあい、いっしょに行った仲間とも友達になることができました。行った時よりも帰ってきた方が自分が成長できていると思います。

本当にありがとうございました。



周南市立熊毛中学校

2年 野村 若加奈



私は今回、周南市友好都市訪問団として、出水市を訪問して、多くのことを学びました。

方言の違いや、鶴の種類や数の圧倒的な多さなど、普段関わることのないことを間近で感じることができて本当によかったです。

出水市を訪問して特に心に残っていることは、鶴の飛び立ちの観察と民泊体験です。

鶴の飛び立つ姿はまだ一度も見ることがなかったのでどんな感じだろうと凄くワクワクしていました。実際に見てみると、その姿はとても生き生きとしていて美しかったです。

民泊体験では、普段と変わらない馴染み深い時間を、仲間や体験先のご家族のみなさんと一緒に楽しく過ごすことができました。一緒にお話をしたり、食事をしたり、お手伝いをしたりなど、いい思い出がいっぱいです。

また、民泊体験や移動中の会話によく方言が出てきました。私には何と言っている

のかよく分からず、呪文のように聞こえることが多々ありました。方言だけで山口とこんなにも違うんだと驚くばかりでした。

周南と出水で共通していたことはお互いに助け合って、鶴を守ろうと頑張っていたところです。

周南には近年飛んでくる鶴の羽数がとても少ないので、その数が増えるようにと、出水の方から何羽かの鶴を放鳥したりなど、たくさんの活動が行われていると聞きました。

私は、そのような活動を通して、周南と出水がもっともっと仲良くなったらいいなと思います。

今回、周南市友好都市訪問団に参加して本当に良かったです。

ありがとうございました。



山口県立高森みどり中学校

1年 福本 高良



ぼくは、出水市でたくさんのことを体験しました。

まず、九州新幹線に乗って出水市に行きました。新幹線の中から見景色はすごくきれいでした。

出水市では、山の上の公園に行きました。そこからは、出水市全体が見渡せる素敵な場所でした。

次に、青年の家へ移動して、泊まりました。青年の家のお風呂はとても気持ち良かったです。

二日目は朝5時半起床で、ぼくにとっては厳しい時間帯でした。鶴を見に行くとなぐらに2グループで寝ていました。えさまきが終わったら最初は一羽、二羽、三羽ぐらいだったけど、すぐに集団で飛び立ち、数えきれないくらいの数で飛んでいきました。群れで飛んでいく姿は、迫力がありませんでした。



このあと、青年の家を出て、戦争に使っていた戦闘機をしまうための倉庫を見に行きました。崩れた建物もありました。ぼくは普段の生活の中で、戦争を感じる事がなかったので少し怖いと感じました。

牛車に乗っての観光は、とてもおだやかでした。牛がゆっくりと歩く速さは、心が落ち着きました。

夕方からは、民泊先の農家さんにお世話になりました。そこで、日本刀や猟銃や磨製石器などを見せてもらいました。ぼくは初めて見ましたが、日本刀を持たせてもらいました

が、とても重くズッシリと手にひびきました。

その翌日、お茶いり体験をさせてもらいました。まず、玄米を大きな釜でいって、ポップコーンみたいにはじけてきたら、茶葉を入れて、茶葉が茶色くなるまでいったら完成です。自分でいったお茶は、とてもこうばしくて、おいしかったです。

この経験はとても楽しい思い出になりました。ありがとうございました。

周南市立周陽中学校

1年 宮田 尚佳



出水市に行って万羽ツルを見たときに、出水市はとてもきれいだからたくさんのツルがいるのだと思いました。八代は土地が少しせまいので、出水市にたくさん行っていると思いました。一万羽以上のツルが飛び立つ姿は感動しました。八代にもたくさんのツルが来てくれるように自分にできることを見つけ、実行したいと思いました。

出水市にも戦争のあとがありました。飛行機の滑走路の広さにおどろきました。あの一本の長く、広い道を通るときに、飛行機を操縦している人は、とてもつらかったのではないかと思います。私たちがとても昔のことだと感じている戦争でも、まだ苦しんでいる方たちもいらっしゃるということを忘れてはならないと思いました。回天とは、海と陸ではちがうけれど、尊い人の命をうばうものに変わりはありません。これからの世の中を平和にし、戦争がおきないようにしたいと思いました。



その日の昼食はいずみ親子ステーキごはんでした。出水市はにわとりが有名で、このごはんでは、鶏肉を1人1人が鉄板で焼いて食べるようになっていました。また、卵かけごはんのもと「TKG」をかけて卵かけごはんを食べました。出水市の卵は9割が2つの卵黄があるときいて、とてもおどろきました。

民泊体験では、大平さんのお家に行きました。夕ごはんには手伝ってもらいながら、



自分たちでパエリアを作りました。おこげがおいしかったです。また大平さんのお母さんの作ってくださったからあげがとてもおいしかったです。寝るときは、はなれの武家屋敷を改そうしてつくられた家で寝ました。いろいろがあり、はじめて見たので、すごいなと思いました。犬のくうちゃんもかわいかったです。

また、鹿児島に行って万羽ツルをみたいです。ありがとうございました。

周南市立富田中学校

1年 山下 紗和子



私が友好都市訪問団に参加してみて、印象に残ったことは、ツルの飛び立ちと民泊体験です。



まず、ツルの飛び立ちがとても心に残りました。最初、田んぼだと思っていた所が動き出したときはとてもびっくりしました。飛んで行く姿はとてもきれいで、周南では見られない多くのツルが飛んで行く姿をしっかりと見ることができました。そして出水市の方々がとてもツルを大切にされていました。中学生の方やツル博物館の方、民家の方も、ツルについて教えて下さいました。本当にツルが好きなんだなと思いました。これからもツルを大切にし、日本からツルが消えないようにするべきだと思います。

次に印象に残ったのは、民泊体験です。とても親切にしてくださいました。その中でも、一番心に残ったのはピザ作りです。大平さんの家で育てられていた野菜をたくさん使い、大平さんが作ったかまどでやきました。とてもおいしかったです。そして、自給自足ができていてすごいなと思いました。野菜をほったり、生地をこねたりするのは大変だったけど、とても楽しかったです。ピザを作ったのは3日目の昼ごはんでした。2日目の夕ごはんにはパエリアも一緒につくりました。優しく教えてもらいながら作りました。とてもおいしかったので、たくさんおかわりをしました。そして、私たちが泊めていただいた所は、はなれにある武家屋敷でした。武家屋敷を住みやすくきれいにした所で、いろいろなどもありすごかったです。



私はこの友好都市訪問団に参加してみて、出水市のことを多く学び、周南市のことも伝えて帰ることができたと思います。出水市の方々はとても親切にして下さり、とてもうれしかったです。これからも、友好都市として、出水市を広めていきたいです。

山口県立高森みどり中学校

1年 山下 晴生



今回、訪問団に参加することが決まって、最初どんな感じだろうと不安しかありませんでした。けれど、いざ行ってみるとすくなじむことができ、その不安もすぐに消えました。ツルの飛び立ちや牛車、民泊などそれぞれに深い思い出をつくることができました。このような二度とできない体験をもらえたことに深く感謝したいと思います。そして、僕たちを、迎え入れてくれた出水市の方たちにも感謝したいと思います。

今後、このような体験ができるなら、せっきょく的に参加していきたいなと思います。この団に参加したことによって、鹿児島県だけでなく、他県の魅力をもっと知りたいという興味がわきました。そして、今回学んだ鹿児島県の魅力を友人や家族にもつたえたいと思います。

ここからは、自分の思い出に残ったことです。思い出に残ったのは四つです。一つ目はツルの飛び立ちです。朝一番にツルがいっせいに飛び立つしゅんかんは、最高

でした。二つ目は、牛車です。牛車では運よく先頭に座らせてもらいました。牛の歩くところを間近で見ることができて良かったと思います。三つ目は武家やしきです。当時そこに住んでいた人が、どのような生活をしていたのかがよく分かる説明でとて



もおもしろいなと感じました。そして、最後に四つ目です。四つ目は、民泊です。民泊した家の方に、鹿児島のおいしい食べ物を教えてもらったり、その家の土地でとれた石器などを見せてもらったりして、一番思い出に残りました。

最後にこのような思い出や学んだことをたくさんの人につたえていきたいと思いました。

☆旅の思い出☆



つるのしんの歓迎



青年の家(男子部屋)



ツルクラブの皆さんと一緒に



特攻碑公園



座禅体験



親子ステーキごはん



出水市職員さんと一緒に



つるのしんとのお別れ



発行 周南市 地域振興部 観光交流課
コンベンション・国際交流推進担当

〒745-0045

山口県周南市徳山港町1-1

TEL : 0834-22-8372

FAX : 0834-22-8357

URL : <http://www.city.shunan.lg.jp>